

## 付 記

ここに掲載する翻訳は、2023年に *Autoimmunity* 誌に掲載された筆者が共著者の1人として名を連ねる mRNA 脂質ナノ粒子製剤（いわゆる mRNA 「ワクチン」）によって引き起こされる自己免疫疾患に関するレビュー論文である。

奇しくも杉田玄白、前野良沢らが解体新書を記した1774年から250年目にあたる本年初に、独自に開発したMediTRANSという臨床医学に特化構築した翻訳エンジンによる本翻訳を出版できることを誇りに思う。同時に、このような論文を出版公表しなければならない事態に心から悲しく、情けない気持ちであることを述べなければならない。これは容易に予測できたことであり、かつ繰り返し警告もしてきたことであった（臨床評価. 2021 ; 49(2) : 263-82, 2022 ; 49(3) : 499-517, 2023 ; 50(4) : 507-42).

「ワクチン」と称して、安全性の全く確認されていない mRNA 脂質ナノ粒子製剤を人類に対し、前代未聞の大規模投与を行って、このようなおびただしい数の健康被害を引き起こした、その根底にあるのは科学・医学、医療、さらに民主主義の深刻な危機であることを、私はこの翻訳を以て読者諸氏に渾身の訴えとしたい。

一般財団法人LHS研究所代表理事  
京都大学名誉教授  
福島 雅典

本翻訳は、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) が開発した自動翻訳エンジンに、正確に翻訳されかつ医学専門家の校閲を経た医学コンテンツの膨大な英日対訳データを投入して構築された臨床医学特化型翻訳エンジン MediTRANS (<http://www.mcl-corp.jp/meditrans/>) によるものです。

MediTRANSによる機械翻訳後に、福島および医学翻訳者による簡易チェック（文単位の訳抜けがないこと、主要単語の訳漏れや間違いがないこと、数字や記号などの基本的な情報が原文と食い違っていないことを翻訳検証ツールを用いて機械的チェック）を経て作成されたものでありますが、あくまでも原著論文（タイトル：Autoimmune inflammatory reactions triggered by the COVID-19 genetic vaccines in terminally differentiated tissues, <https://doi.org/10.1080/08916934.2023.2259123>）が正であることをご理解の上、本翻訳をご利用いただけましたら幸いです。

本翻訳に対する率直なご意見やフィードバックを歓迎いたします。

株式会社MCL  
代表取締役  
平井 由里子